

地域が主役です



これから買い物が不安だね
移動が課題です

これからどんな地域に
していこう？

和気あいあいと
地域のために

コミュニケーションが
課題だね

同窓会のような
雰囲気

まずはお互いを知る
ことから始めよう

話し合いの場 (協議体)

話し合い

- ①情報共有
- ②地域の宝物探し
- ③できること探し

気づき

- ①新たなつながり
- ②協力してくれる仲間
- ③地域の課題

活動

- たとえば…
- ①声かけ、見守り
 - ②居場所(サロン等)
 - ③社会参加

支部地区社協
ボランティア

ふれあいサロン

民生委員

施設職員
地域企業

第2層協議体(身近な生活圏域)

市職員

社協職員

- 地域のニーズの把握(地域の強みや今後取り組む内容の検討)
- 情報交換、情報共有の場(関係者のネットワークや連携体制づくり)
- その地域にあった支え合いの仕組みづくり

第1層協議体(市全体)

- 市全域の話し合いの場
- 市全域を対象とした助け合い活動の創出や拡大

重層的な仕組みに
なっています



支部地区社協

住民主体で、地域が抱えるさまざまな地域課題を住民同士の話し合いや活動を通し、解決していく小地域の地域福祉活動です。笠間市内に、15支部12地区社協があり、それぞれの地域にあわせた福祉の向上を目指しています。



ふれあいサロン

地域の人々が「気軽に、無理なく、楽しく、自由に」誰でも参加できる場所です。また自然と支えあいが生まれる場所でもあります。笠間市内には、24サロンあり地域の皆さんの大切なコミュニケーションの場になっています。



民生委員

地域の身近な相談相手となり支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役です。